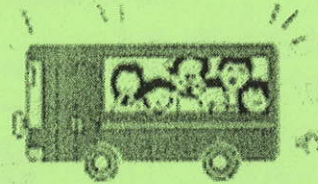


美しい郷へGO!!

発行 白鷹町美しい郷づくり推進会議
環境ニュース部会
TEL 0238 (85) 6131
FAX 0238 (85) 5275

BDF(使用済み天ぷら油)燃料で 車が走る

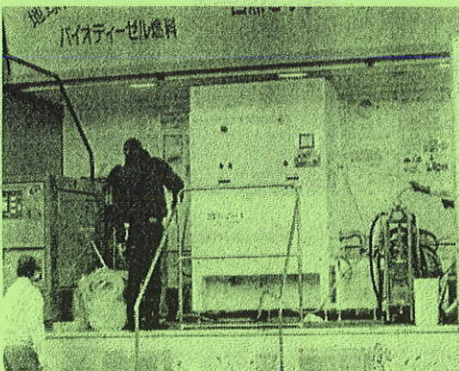


一昨年に引き続き、平成20年7月から“なの花”循環線プランの廃食用油回収実験事業にご協力いただき、おかげさまで2,150Lを回収することができました。

ご協力いただきました皆様に厚く感謝を申し上げます。

この回収した廃食用油を、天童市にあるエムエスデー社製最新のBDF装置にかけ純度の高いBDF燃料に生成し、白鷹陽光学園のマイクロバスや乗用車・農耕用トラクターに100%使用した走行実験を行なっています。

11月7日に白鷹陽光学園で行なわれたBDF生成デモンストレーションには、雨模様にもかかわらず町内外から多数の方々においでいただき、(株)エムエスデーより温水洗浄工程が不要な装置の説明をいただくと共に高純度のBDFが生成される様子を見ていただきました。



その後参加者は白鷹陽光学園のマイクロバスに乗車し町内をまわり、軽油で走るときと何ら変わりない乗り心地を体験していただきました。また、自家用車に使用し東京方面まで走行実験を行なった委員の一人は、長距離走行に何ら問題はなく安心して走れると、純度の高いBDFに驚いていました。

“なの花”循環線プランとは・・・

H19.7からフラワー長井線沿線の蚕桑(山口地区を除く)鮎貝(高岡・深山・黒鴨地区を除く)荒砥(荒砥第1・2区及び仲町区)の各地区の家庭から出た使用済み天ぷら油をごみ集積所に出していただき回収した事業



ちょっと

お得な話

照明編

家庭の1年間の全消費電力の内訳をみると、2番目に多いのが照明です。照明の省エネを考えて白熱電球を電球型蛍光灯に替えると寿命が長くなり消費電力も節約になります。

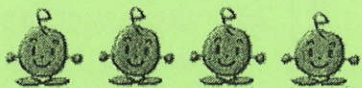
- ① 電球型蛍光灯の消費電力は白熱電球とくらべてどのくらい?
(ア)約1/2
(イ)約1/4
(ウ)約1/10
- ② 日本中で使われている白熱電球の数は?
(ア)3,600万コ
(イ)6,600万コ
(ウ)1億1,600万コ

答え①(イ) ②(ウ)

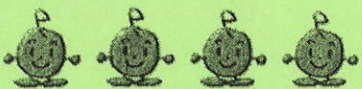
日本中の全ての白熱電球を電球型蛍光灯に取替えると1年間で約2000万トンのCO₂を減らせます。もちろん基本はこまめな消灯です。

【エコキッズ がんばれ!!】

～森林を守る子どもたち～



11月6日蚕桑小6年生37名と鮎貝小6年生10名で、蚕桑小スキー場跡地にブナの苗木を植樹しました。西田尻地区の方々と、豊かな自然・ブナの森づくりの会のメンバーが7月に地ごしらえ作業をしたところに、児童らが200本のブナの苗木を植樹し、「自分たちが成人の日を迎えたときこの木の下で乾杯しよう」と誓い合いました。



10月17日東根小の緑の少年団の29名が、東根小の学校林できのこ狩りを行ないマツタケ3本を収穫しました。6月より、浅立地区の方々と学校林整備協力会のメンバーが下刈等の整備作業を行ない、9月末からは交替で巡回監視をしてきました。森林整備が、きのこ等の副産物に影響することや森林の役割を説明してもらい学習しました。

いま、なぜ省エネが必要か!!

9月11日、白鷹西中学校において山形県環境アドバイザーの橋本聡氏を講師に迎え環境講座が開かれ、いま直面する環境問題についてわかりやすく説明いただきました。地球温暖化や環境破壊を食い止めるには、私たち一人一人がもっと賢くなり、便利なものにすぐ飛びつくのではなく、昔の良さを見直しながら過ごす必要があると話されました。

講演の最後に、橋本氏から「グリーンコンシューマー(環境を第1に考える人)になってくれる人は?」と問いかけられ、ほとんどの生徒から手が上がり充実した講座になりました。

「100の知識より1つの行動」これからの西中生の行動と活動の展開に期待します。

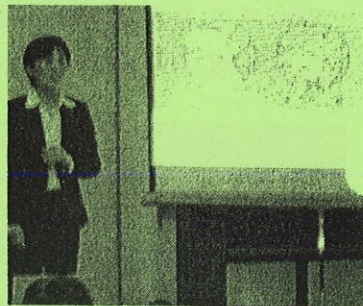
出前講座大盛況

7月の十王地区公民館をかわきりに東根・荒砥・鮎貝・蚕桑の各地区公民館において環境出前講座が開催されました。

十王地区では、高畠町住民生活課 村上奈美子さんを講師に迎え『年間7万円節約!私の省エネ術』と題しての話をお聞きし、各家庭で省エネを実践し「十王版省エネチャレンジコンペ」に参加しました。

12月に行なわれた鮎貝地区では、寒くなる時期の省エネ術として簡易湯たんぽのすすめなどもあり、50名ほどの参加者は手作りのお菓子をいただきながら、“省エネで得する話”に聞き入っていました。

荒砥地区ではEMせっけん作り、蚕桑地区ではEMボカシ作り講座が開催され多数の方々が参加されました。EMせっけんを使って水質を浄化したり、EMボカシで生ごみを堆肥化し良好な土をつくる話を聞きさっそく実践に移そうと話していらっしゃいました。



☀ あ と が き ☀

大変な世界的経済危機の中で新年を迎えました。昨年は食品偽装や非正規労働者大量解雇など本当に大変な一年でした。長い目で見ると今までの社会のひずみや無理が修正される時代が来たのかもしれません。

もともと日本人は圧倒的独り勝ちを望まず、弱者や敗者に心寄せたり、自然や物を大切にすることをいっぱい持っている民族です。現状はとても大変ですが、古き日本人の良い点を思い出し、人や風物・環境を大切にする日本人らしさを生かした新しいシステムづくりができることを願いながらがんばっていきましょう。(よこやま)

お詫び：前回3号の当推進会議新メンバー紹介で環境出前講座部会・松木千鶴子さんの名前がぬけておりました。